

施工説明書

施工説明書の内容に沿って正しく取付けてください。

ハンスグローエ正規部品以外使用しないでください。

3 ホールリム付け式バス混合水栓 埋込部 / 化粧部

安全上の注意

製品別目次

施工手順

施工後の点検項目

修理を依頼される前に

工事店様へのお願い

- 貴店名ならびに取付日を保証書にご記入の上、お客様にお渡しください。
取り付け後は、お客様にご使用方法及びお手入れ方法を十分にご説明ください。
また、定期的に交換が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

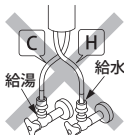
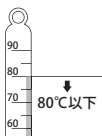
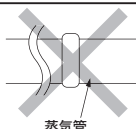
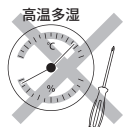
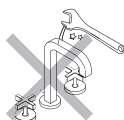
安全上の注意

- 施工前に、この「安全上の注意」を良くお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客様に引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は、取扱説明書と共にお客様で保管頂くように依頼してください。

記号の説明

 注意！	危険、注意
	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。
	禁止行為
	該当する行為が禁止行為であることを示しています。
	分解禁止
	分解禁止を意味します。
	接触禁止
	該当する部品や部分に触れてはいけないことを示しています。
	指示（重要）
	該当する行為が記載されている指示に従って行われなければならないことを示しています。

必ずお守りください

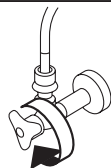
 注意！	危険、注意 ご使用者や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、下記の事項を厳守し、指示には必ず従ってください。
	禁止行為
	湯水を逆に配管しないでください。 水側からお湯が出てやけどをすることがあります。 
	80℃より高温で使用しないでください。水栓の寿命が短くなり、破損や、やけど、水漏れなどの損害発生のおそれがあります。 
	蒸気管は決して配管しないでください。やけどのおそれがありますので配管時には必ず配管の種類を確認してください。 
	サウナなど高温多湿の場所に施工しないでください。パッキンなどが損傷するおそれがあります。取付場所を確認してください。 
	強い力や衝撃を与えないでください。破損し、水漏れを引き起こすなど、損害発生のおそれがあります。 
	分解禁止
	接触禁止
	高温の湯を吐水時には吐水口に触れないでください。 やけど、けがなどのおそれがあります。 

必ずお守りください



指示（重要）

漏水の無いよう、施工前に必ず給水栓を閉じてください。



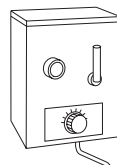
水栓の破損原因になるおそれがありますので、施工前に必ず給水管のゴミ、砂などを完全に洗い流してください。



給水、給湯の供給圧力差が大きいと、水栓の破損原因となります。
水栓の取付前に、圧力差を調節してください。



瞬間湯沸かし器をご使用の場合、給湯器の設定温度を使用温度より8～10℃高めに設定してください。
吐水量を絞って使用すると、給湯器が着火しない場合があります。
水量と設定温度を上げてください。



施工完了後は、耐圧試験を実施し、水栓または、配管接続部から水漏れがないことを確認してください。
配管の耐圧試験時は静水圧にて1.75MPa/分を限度としてください。



技術仕様及び取付前のご注意

技術仕様

給水・給湯圧力	最低必要水压	(推奨) 0.15MPa (器具 1 次側、流動圧)
	最高水压	(推奨) 0.5MPa (器具 1 次側、静水压)
使用最高温度		(推奨) 65℃以下
使用可能水質		上水道
使用環境温度	一般地用	1 ~ 40℃
用途		一般住宅用 (屋内)
※詳細は各製品の承認図をご確認ください。		

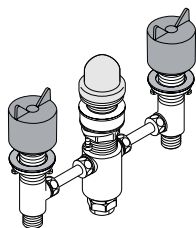
取付前に

- 製品の取付前に、給水、給湯管のごみを、完全に洗い流してください。配管内にごみが詰まると、製品を取りつけますと、製品内部にごみが詰まり、吐水不良や、製品不具合を引き起こすことがあります。配管内の異物・ごみなどに起因する水栓の止水不良、吐水不良、サーモスタットの作動不良については、製品保証の対象外となります。
- 給水圧力が 0.5MPa を超える場合には、市販の減圧弁で 0.2 ~ 0.4MPa 程度に減圧してください。
- 給水、給湯はほぼ同圧 (0.1MPa 以内) にして供給してください。特に、電気温水器等と組み合わせる場合は、給湯圧力にご注意ください。給湯圧力が低いと、吐水量が不足し、水の勢いが十分に得られません。
また、サーモスタットの不具合の原因となります。供給圧力差に起因する不具合については、製品保証の対象外となります。
- 水压の調整や、点検作業を容易にするため、別途止水栓をご用意ください。**点検口を必ず設けてください。**
- 梱包前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている可能性があります。製品には問題ありません。

製品別目次

個々の製品の部品リスト / 部品図、施工完了図については、それぞれのページを参照ください。

埋込部

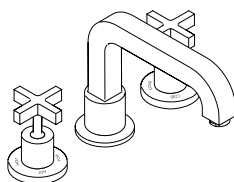


製品品番 13233xxx

部品リスト
完成図

P7
P7

アクサーチッテリオ

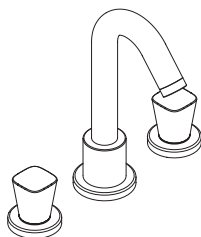


製品品番 39436xxx

部品リスト
完成図

P8
P8

ロギス

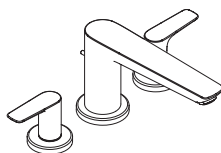


製品品番 71300xxx

部品リスト
完成図

P9
P9

タリス E



製品品番 71747xxx

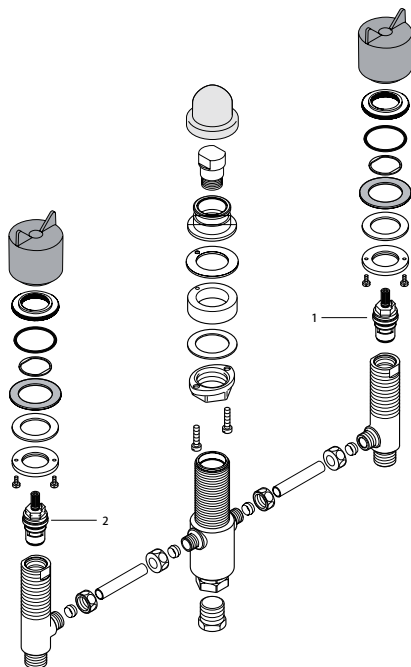
部品リスト
完成図

P10
P10

部品図 / 部品リスト 完成図

製品品番：13233xxx

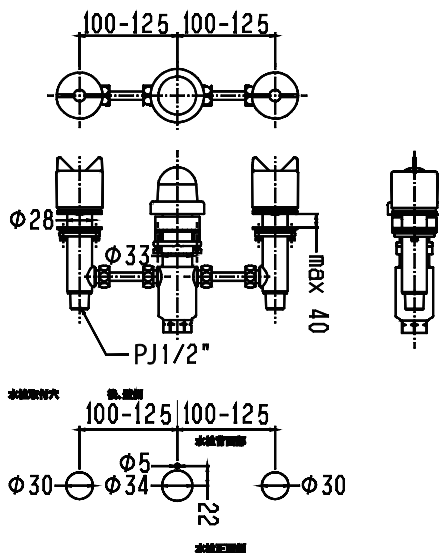
製品分解図



部品リスト

1	ストップバルブ(水)	94008000
2	ストップバルブ(お湯)	94009000

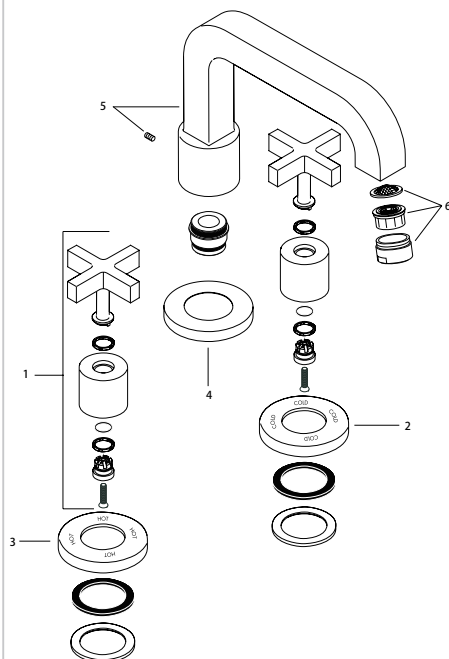
完成図



部品図 / 部品リスト 完成図

製品品番：39436xxx

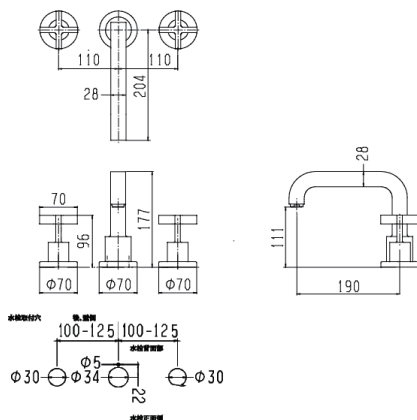
製品分解図



部品リスト

1	ハンドル (1 個)	39292000
2	エスカッション (水)	96772000
3	エスカッション (お湯)	96771000
4	エスカッション	97779000
5	スバウトセット	97125001
6	エアレーターセット	13956000

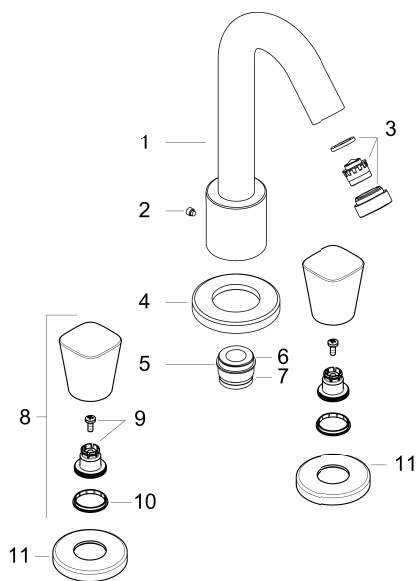
完成図



部品図 / 部品リスト 完成図

製品品番：71300xxx

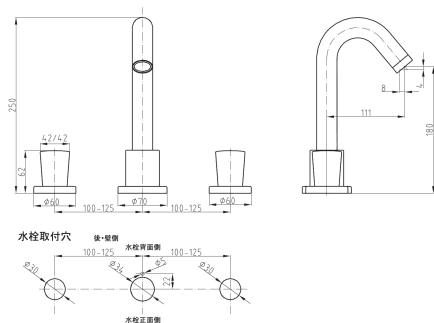
製品分解図



部品リスト

1	スパウト	95463000
2	ネジ M6 x 6	97660000
3	エアレーター	95456000
4	エスカッション	97779000
5	スパウトアダプター	88512000
6	O リング 23 x 2.5	98183000
7	O リング 21 x 2.5	98211000
8	ハンドル	92250000
9	ハンドル固定セット	94184000
10	湯水表示カラーリング	96299000
11	エスカッション	31098000

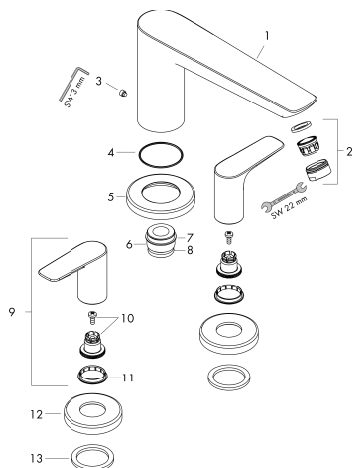
完成図



部品図 / 部品リスト 完成図

製品品番：71747xxx

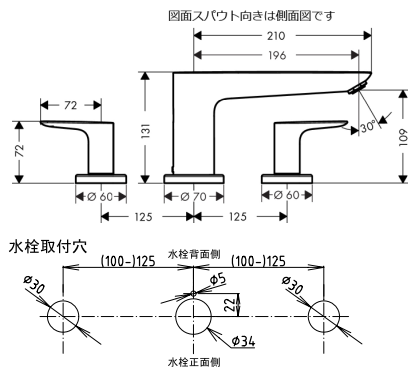
製品分解図



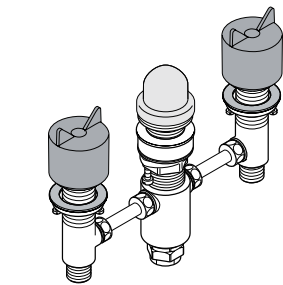
部品リスト

1	スバウト	92783000
2	エアレーター	96512000
3	ネジ M6 x 6	97660000
4	Oリング 41x 1.5	98168000
5	エスカッション φ 70mm	97779000
6	スバウト用アダプター	88512000
7	Oリング 23 x 2.5	98183000
8	Oリング 21 x 2.5	98211000
9	ハンドルセット	92779000
10	ハンドル固定セット	94184000
11	湯水表示カラーリング	96299000
12	エスカッション	31098000
13	パッキン	98749000

完成図

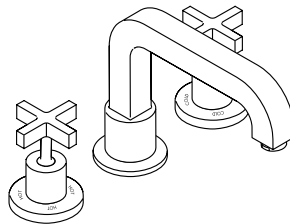


共通施工手順①



①埋込部の取付

③配管内の清掃

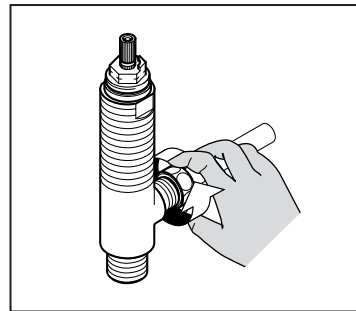
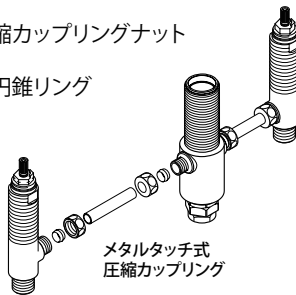


②化粧部の取付

①スパウト埋込部とバルブ埋込部の接続

圧縮カップリングナット

円錐リング



施工
手順



指示（重要）

接続用銅管は、必要に応じて切断して短縮できます。

接続用銅管に圧縮カップリングナット、円錐リングを通し、バルブハウジング（左右）、スパウトハウジング（中央）に接続します。

締込みの際は、あたりがあるまで銅管を各ハウジングの奥まで差し込み、手締めにて強く締付けてください。



危険（注意）

漏水のおそれがありますので、確実に接続してください。

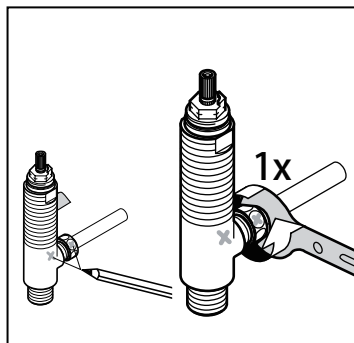
共通施工手順②

②圧縮カップリングナットの締付け

圧縮カップリングナット及び、バルブハウジングに締込み回転数が分かるように印を付けてください。

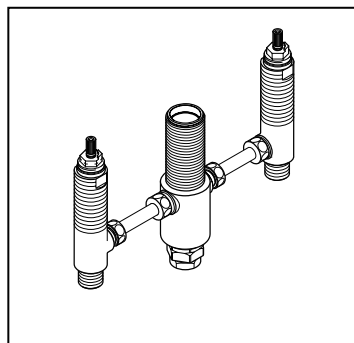
バルブハウジングを固定した状態にて、圧縮カップリングナットを印の位置からスパナを使用して1回転締付けてください。

メタルタッチ式ですので、十分注意を払って締込んでください。



危険（注意）

漏水の原因となりますので、接続用銅管が曲がらないように、必ず水平に接続できていることを確認ください。



③-1 浴槽リムへの埋込部の取付

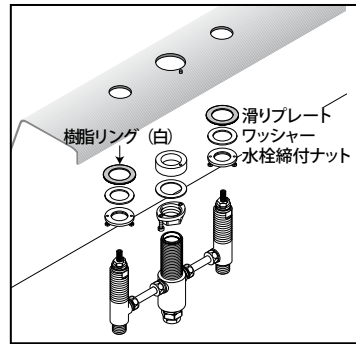
滑りプレート、ワッシャー、水栓締付ナットをスパウトハウジングと両サイドのバルブハウジングに奥までねじ込んで仮付けし、取付面下部より水栓取付穴に通します。

各製品の順序を間違えないようにご注意ください。



指示（重要）

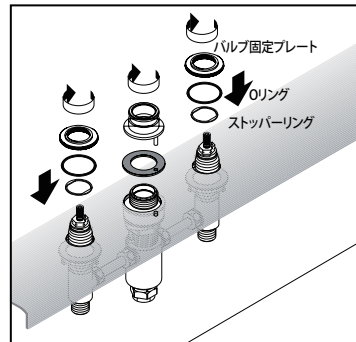
白の樹脂製リングは、取付面の浴槽リム厚が 15mm 以上の際には、取り外してもかまいません。



③-2 浴槽リムへの埋込部の取付

ストッパーリングを取付面の浴槽リム上部より、それぞれ左右のバルブハウジングの切り欠きに合わせて取付けます。O-リングをそれぞれのバルブ固定プレートに取付けて、ストッパーリングにあたるまで確実にねじ込みます。

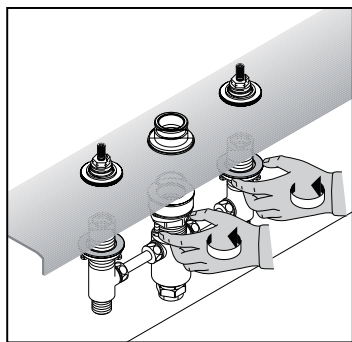
中央のスパウトハウジングには、浴槽リム上部よりスパウト受け金具とシートパッキンを奥まで取付けます。スパウト受け金具の固定ピンを、浴槽リムの穴に必ず通してください。吐水口ゆるみの原因になります。



共通施工手順③

③-3 浴槽リムへの埋込部の取付

浴槽リム下部より、各ハウジングの水栓締付ナットを手でできる限り強く締付けてください。



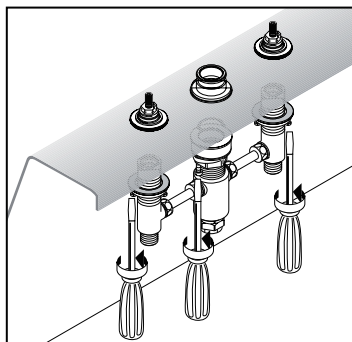
水栓締付ナットの固定ネジを、ドライバーで締付けます。

ここまでの取付作業が完了しましたら、湯水サプライ管を接続できます。



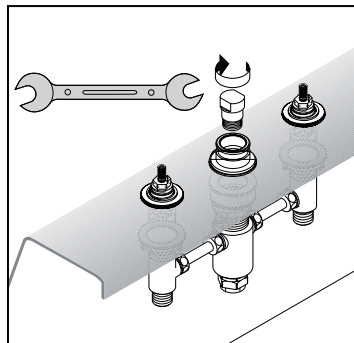
指示（重要）

正面向かって左側が「お湯」、右側が「水」ですので、間違いないように接続ください。

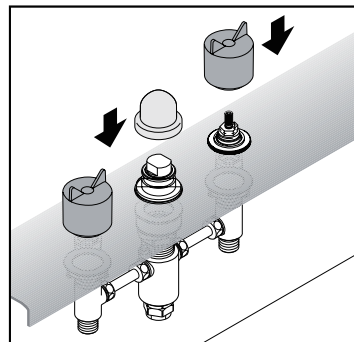


③ -4 浴槽リムへの埋込部の取付

プラグをスパウトハウジングに取付けた後、耐圧試験が可能になります。接続部等にもれがないか確認してください。

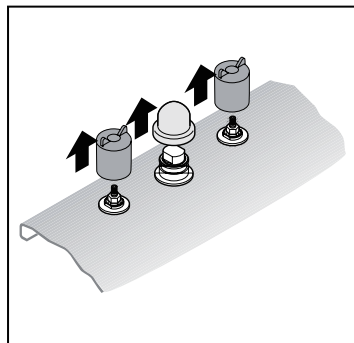


化粧部を取付けるまでの間は、保護カバーを取付けておいてください。
湯水サプライ管を接続後、スパウトハウジング下部のプラグを外して、配管内の清掃をします。



④化粧部の取付

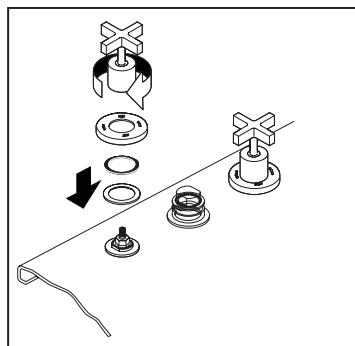
元栓を閉め、樹脂製養生キャップを取外します。



製品固有施工手順①

製品品番：39436xxx

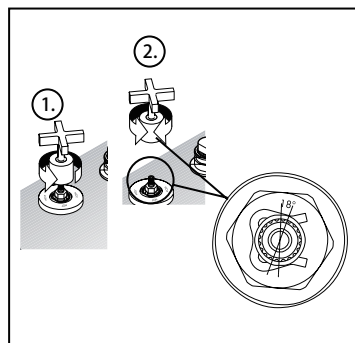
- ① ハンドルのローゼットを取付け、ハンドルの向きに気をつけてハンドルを取付けてください。
ハンドルのローゼットは、給水用及び給湯用の違いに気をつけて取付けてください。



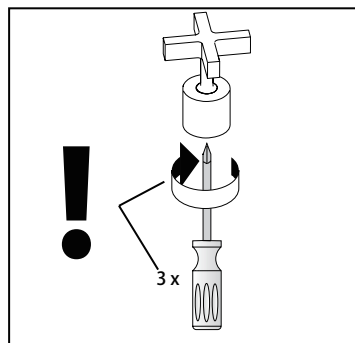
① - 補 ハンドルの調整方法

①A ハンドル角度の微調整

ハンドルの取付角度は 18 度きざみです。

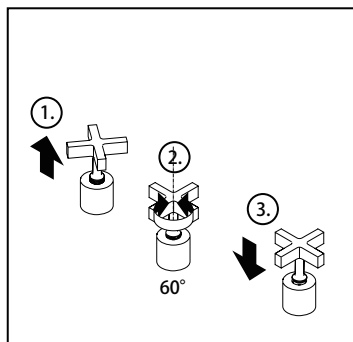


ハンドル下部のネジを緩めて下さい。

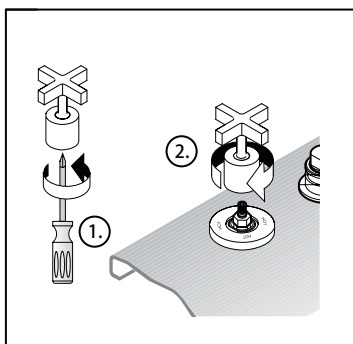


製品固有施工手順①

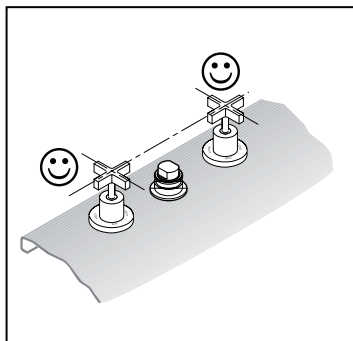
- ⑧ハンドル受けのきざみにより、角度が調整できます。
適正な角度となるよう調整してください。



ハンドル下部のネジを固定した後、ハンドルを固定してください。

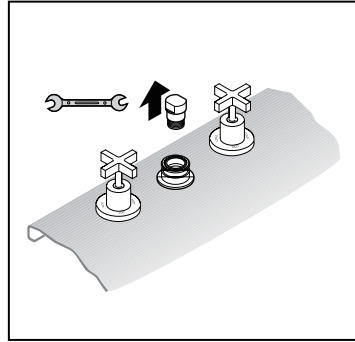


ハンドルの操作角度を確認してください。

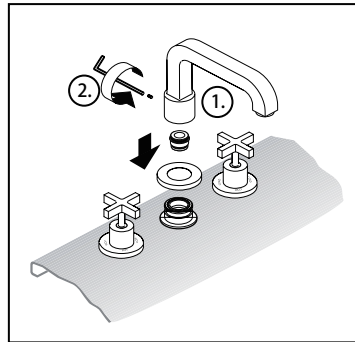


②スパウトの取付

吐水口保護プラグを取外します。



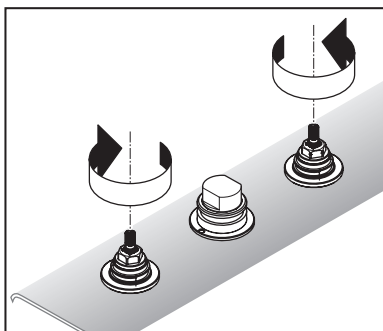
吐水口を取付けてください。背面のイモビスで固定します。



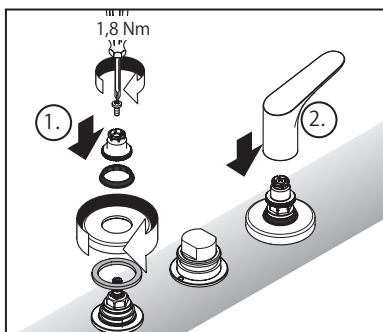
製品固有施工手順①②③

製品品番：71300xxx, 71747xxx

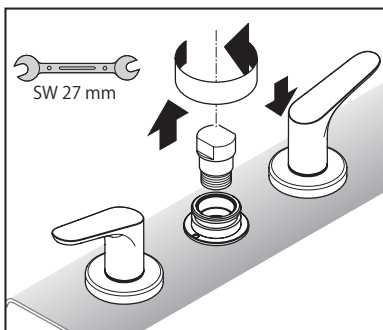
- ①ハンドル用ストップバルブを取り付けてください。



- ②ハンドル用エスカッション、固定セットを取り付け、ハンドルの向きに気をつけてハンドルを取り付けてください。
カラーリングは、給水用及び給湯用の違いに気をつけて取り付けてください。

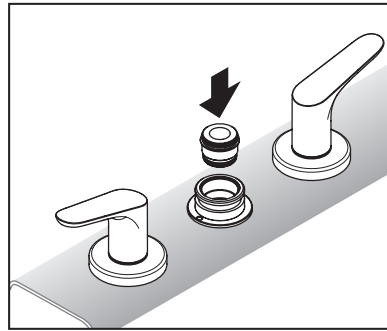


- ③スパウトの取付
吐水口保護プラグを取り外します。

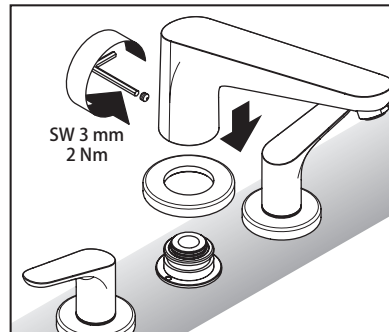


製品固有施工手順③

- ・ スパウト用アダプターを取り付けます。



- ・ スパウトを取り付けてください。
背面のイモネジを六角レンチ（3mm）で
固定してください。



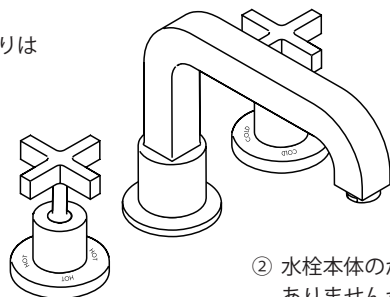
施工後の点検項目

施工が完了したあと、次の項目を確認してください。

施工後は、同梱の取扱説明書とともにお客様にお渡しください。

- ① スパウトから水は出ますか。
止水はできますか。

- ③ 吐水口のごみ詰まりは
無いですか。



- ② 水栓本体のがたつきは
ありませんか。

- ④ 給水・給湯ホースは、ゆるみなく
しっかりと接続されていますか。

- ⑤ 止水栓は開いてますか。
水の勢いは強すぎませんか。

使用時の注意

使いはじめに比べて、しばらくするとハンドル操作が重く感じられますが、使用により製品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。

修理を依頼される前に

症状	ここをお調べください	処置の仕方
水が止まらない	ハンドルは止水位置になっていますか。	ハンドルを止水位置にしてください。
	ハンドルがカルキ、ごみなどで汚れていませんか。	カートリッジの清掃、または交換が必要です。修理を依頼してください。
水が出ない	止水栓は開いていますか。	止水栓を開き、流量の調整をしてください。
流量が少ない	止水栓は十分に開いていますか。	止水栓を開き、流量の調整をしてください。キャビネット内に保管した物があたって、止水栓が動くことがあります。
	エアレーターあるいは、ストレーナーが詰まっていますか。	エアレーターの清掃をしてください。
	給水圧が不足していませんか。	給水圧、給湯圧を製品の作動圧内に調整してください。
水しか出ない	湯水側の止水栓は開いていますか。	止水栓を開き、流量の調整をしてください。
	給湯器のスイッチは入っていますか。	給湯器の温度設定を確認し、十分な湯量、湯温を確保してください。
湯しか出ない	水側の止水栓は開いていますか。	止水栓を開き、流量の調整をしてください。
ハンドルの動きが悪い	ハンドルがカルキ、ごみなどで汚れていませんか。	カートリッジの清掃、または交換が必要です。修理を依頼してください。
ハンドルが重くなった	—	お使い始めに比べ、使用しているうちに、ハンドルが重く感じられるようになる場合があります。これは内部部品のなじみによるものであり、故障ではありません。

ハンスグローエ ジャパン株式会社

TEL: 03-5715-3054 <http://www.hansgrohe.co.jp>

20194040

20190531

1905